

# 障がい者雇用で功績

## 丹波市「柳瀬」に感謝状

丹波市は、障がい者雇用に理解が深く、長年にわたって障がい者を雇用

している功績をたたえ、研磨材などの製造を手掛ける「柳瀬株式会社」

（山南町谷川、柳瀬孝之社長）に市障害者雇用優良事業所として感謝状を贈った。このほど、林時彦市長が同社を訪れ、柳瀬社長（48）に手渡した。

福祉団体の障がい者らの職場実習も積極的に受け入れている。柳瀬社長は、「障がい者、健全者とは、布やすりを並べたり、カットしたりする作業に従事している。柳瀬社長は「勤務態度は大変まじめ」と評価している。

分けるのではなく、全ての人が働きやすい環境をつくるのが離職率の低下につながる。そうなることで会社は安定し業績アップにもつながっていく。今後さらに職場環境の整備に力を入れていきたい」と抱負を語った。

市は2015年度から毎年、障がい者の法定雇用率2・2%を超える市内の企業を対象に、柏原公共職業安定所や特別支援学校などから推薦のあった企業に感謝状を贈っている。同社で7社



同社は1985年設立。現在、従業員数は100人で、うち勤続24年の40歳代と、勤続6年の60歳代の障がい者2人を雇用している。2人は、研磨材の製造ラインに入

林市長（右）から感謝状を受け取る柳瀬社長（山南町谷川で